

第37回 区政世論調査 結果のあらまし

調査の概要

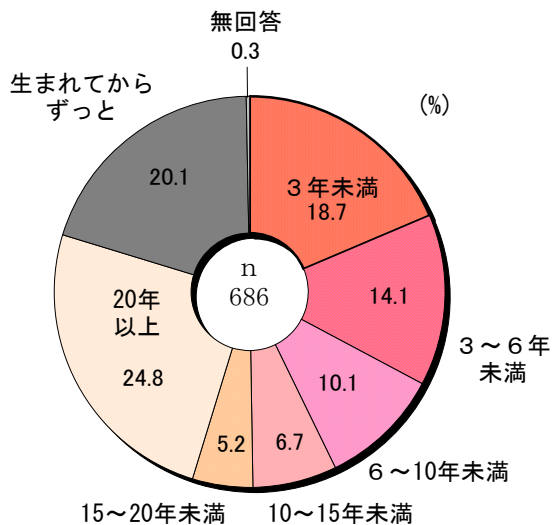
- | | |
|----------|---|
| (1) 調査対象 | 中央区に居住する満20歳以上の男女個人 |
| (2) 対象者 | 1,000人 |
| (3) 抽出方法 | 無作為抽出法
平成19年5月31日現在の住民基本台帳に登録された満20歳以上の男女90,083人より一定の割合で系統的に抽出 |
| (4) 調査方法 | 留置法(郵送配布・訪問回収) |
| (5) 調査時期 | 平成19年7月5日(木)～7月25日(水) |
| (6) 調査項目 | 定住性
健康
高齢者対策
子育て支援
インターネットを利用した区政情報の入手等
防犯対策
区の文化
生涯学習・スポーツ
防災対策
公園・緑化施策
住宅施策
施策の要望・評価 |
| (7) 調査結果 | 別紙のとおり(抜粋) |
| (8) 調査機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |
| (9) 回収結果 | 回収数 686 回収率 68.6% |

1 定住性

■ 居住年数

中央区に「20年以上」または「生まれてからずっと」住んでいる『長期居住者』の割合は44.9%と半数近くを占める一方、およそ3人に1人は「3年未満」または「3年以上6年未満」の『短期居住者』(32.8%)である。

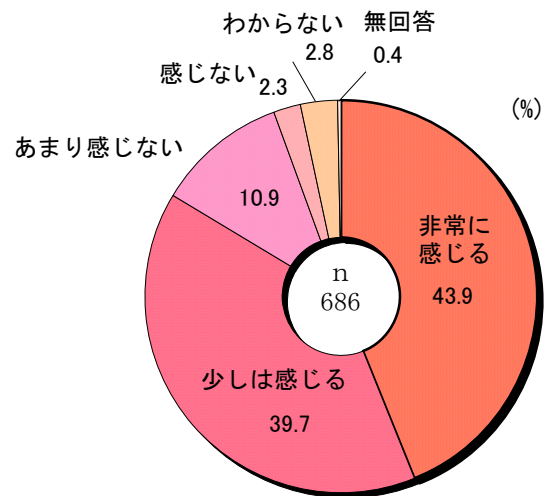
過去の調査結果と比較すると、前回より「3年未満」が5ポイント減少し、「20年以上」も4ポイント減少している。



■ 愛着心

中央区に愛着を『感じる』(「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計)のは83.6%と8割を超え、『感じない』(「感じない」と「あまり感じない」の合計)は13.2%と1割強である。

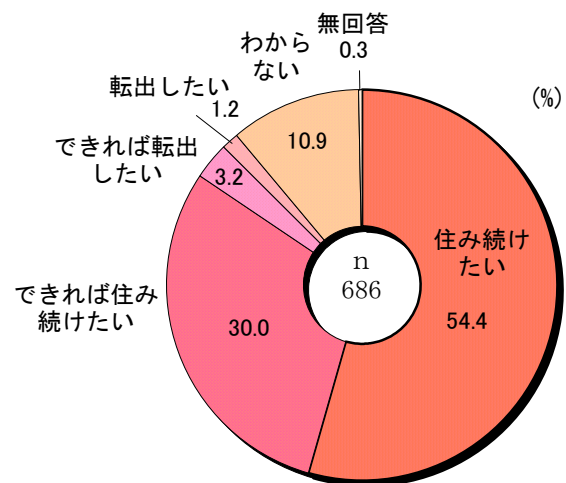
過去の調査結果と比較すると、愛着者層は前回より3ポイント増加し、平成16年まで減少傾向にあった愛着者層が3年続けて増加傾向にある。



■ 定住意向

中央区に今後も「住み続けたい」(54.4%)は半数以上を占め、「できれば住み続けたい」(30.0%)と合わせた定住意向のある人(84.4%)が8割を超える。「転出したい」(1.2%)または「できれば転出したい」(3.2%)と回答した転出意向のある人は4.4%、「わからない」が10.9%となっている。

過去の調査結果と比較すると、定住意向のある人の割合は前回より3ポイント増加しており、中でも特に、平成12年以降減少傾向にあった「住み続けたい」の割合が6ポイント増加している。

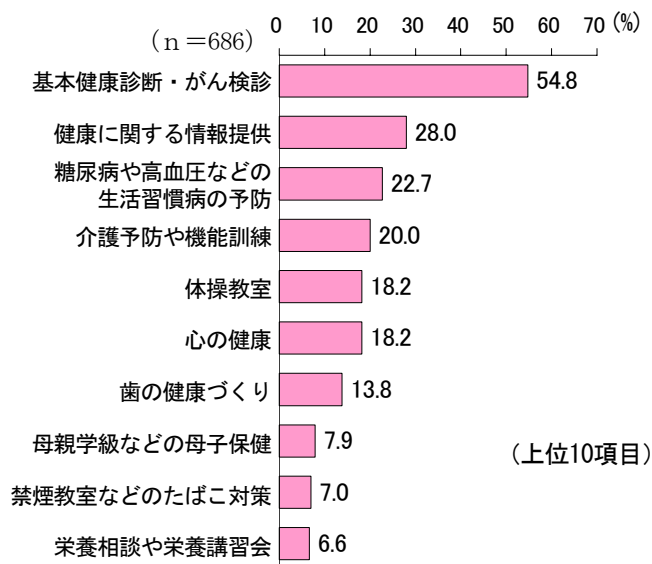


2 健康

区に望む健康維持のための施策

今後、力を入れてほしい施策として、「基本健康診断・がん検診」(54.8%)が過半数から選ばれており、次いで「健康に関する情報提供」(28.0%)、「糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防」(22.7%)、「介護予防や機能訓練」(20.0%)、「体操教室」および「心の健康」(18.2%)となっている。

昨年の調査結果と比較した場合、特に目立った変化は見当たらないが、「介護予防や機能訓練」で4ポイント増加しており、「栄養相談や栄養講習会」では4ポイント減少している。

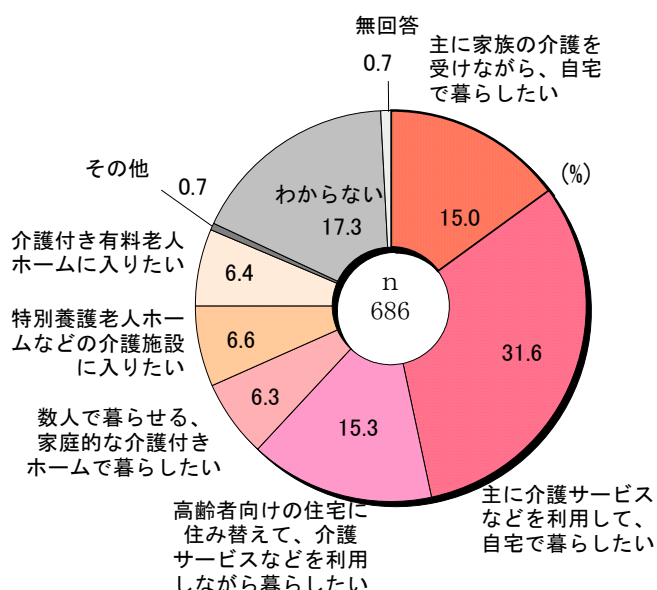


3 高齢者対策

要介護時における暮らし方

介護が必要になった場合の暮らし方については、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(31.6%)が3割強で最も高く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(15.0%)と合わせると、『自宅で暮らしたい』(46.6%)人は半数に近い。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(15.3%)が1割台半ばとなっている。

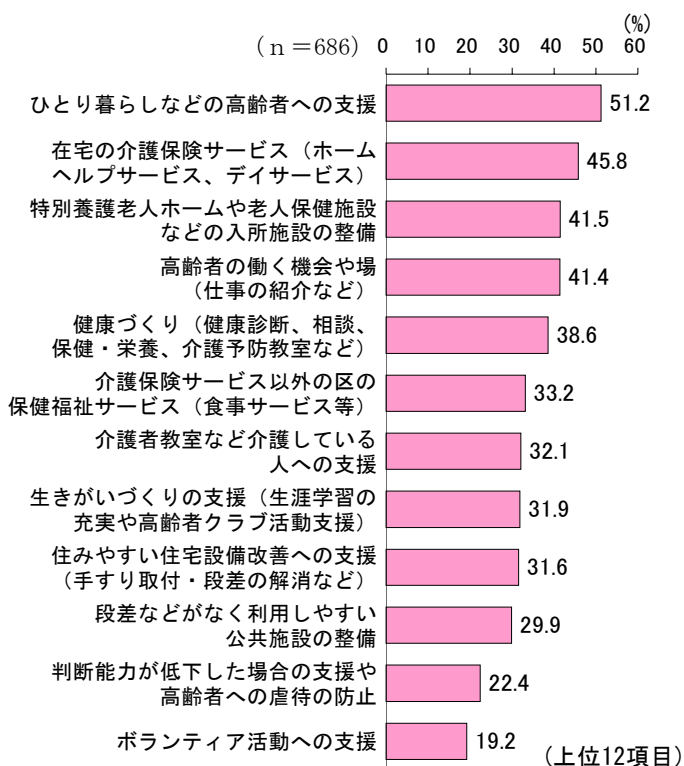
昨年の調査結果と比較すると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が5ポイント減少したものの、それ以外の項目では特に目立った変化は見当たらない。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

区がこれから力を入れていくべきこととして、「ひとり暮らしなどの高齢者への支援」(51.2%)が半数強から選ばれている。以下、「在宅の介護保険サービス」(45.8%)が4割台半ば、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の整備」(41.5%)と「高齢者の働く機会や場」(41.4%)が4割強で続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「高齢者の働く機会や場」と「生きがいがづくりの支援」、「段差などがなく利用しやすい公共施設の整備」でそれぞれ4ポイント、「ボランティア活動への支援」で3ポイント減少している。一方、「在宅の介護保険サービス」で5ポイント、「介護者教室など介護している人への支援」で3ポイント増加している。

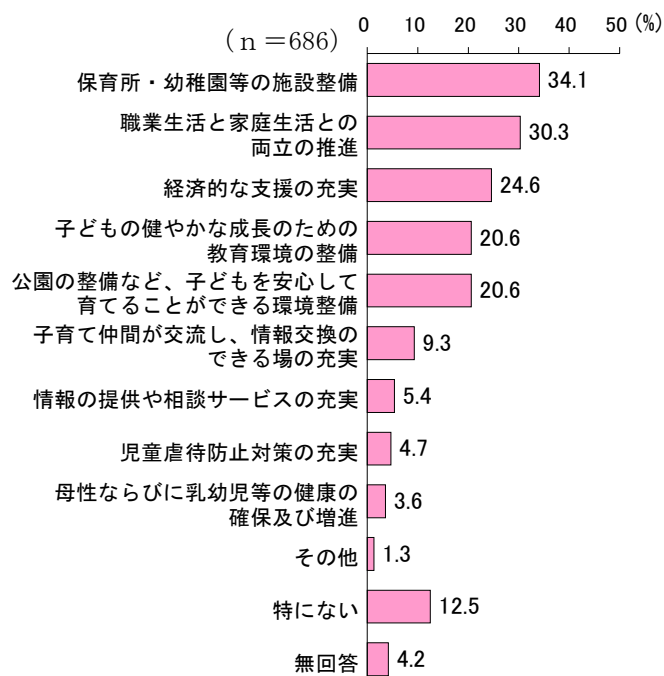


4 子育て支援

■区に望む子育て支援策

重要な子育て支援策として、「保育所・幼稚園等の施設整備」(34.1%)が3割台半ばを占めて最も高く、以下「職業生活と家庭生活との両立の推進」(30.3%)、「経済的な支援の充実」(24.6%)、「子どもの健やかな成長のための教育環境の整備」および「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(20.6%)と続いている。

昨年の調査結果と比較すると、ほとんどの項目で減少しており、中でも特に「保育所・幼稚園等の施設整備」で8ポイントの減少となっている。一方、「特にない」は9ポイント増加している。

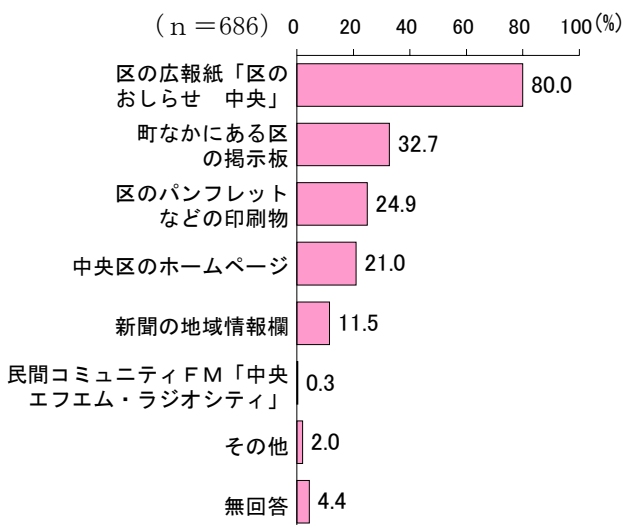


5 インターネットを利用した区政情報の入手等

■現在の情報の入手方法

区政情報の入手方法として、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(80.0%)が8割と圧倒的多数を占めている。次いで「町なかにある区の掲示板」(32.7%)は3割強、「区のパフレットなどの印刷物」(24.9%)と「中央区のホームページ」(21.0%)は2割強となっている。

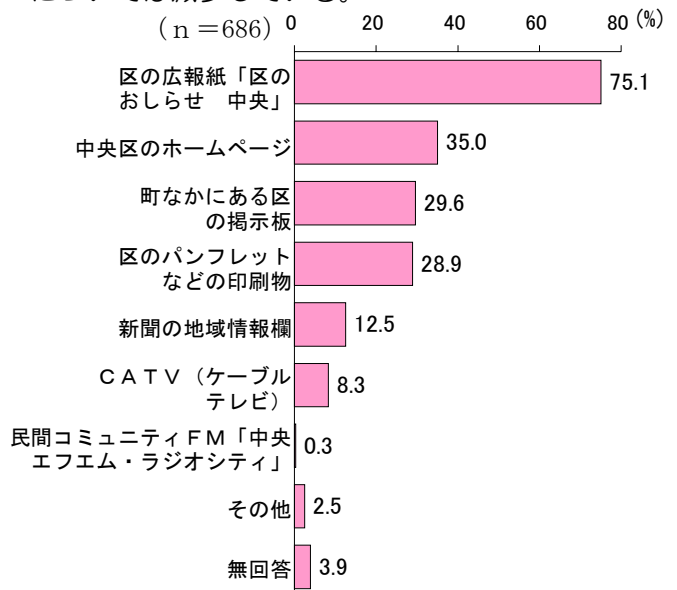
昨年の調査結果と比較すると、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」が3ポイント減少しているが、その他の項目は増加している。



■希望する情報の入手方法

今後希望する情報の入手方法は、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(75.1%)が7割台半ば、「中央区のホームページ」(35.0%)が3割台半ば、「町なかにある区の掲示板」(29.6%)と「区のパフレットなどの印刷物」(28.9%)が3割弱となっている。現在の情報の入手方法の結果と比べて、「中央区のホームページ」が14ポイント高い点が目立つ。

昨年の調査と比較すると、「中央区のホームページ」で3ポイント、「CATV(ケーブルテレビ)」で4ポイント増加しており、その他の項目については減少している。

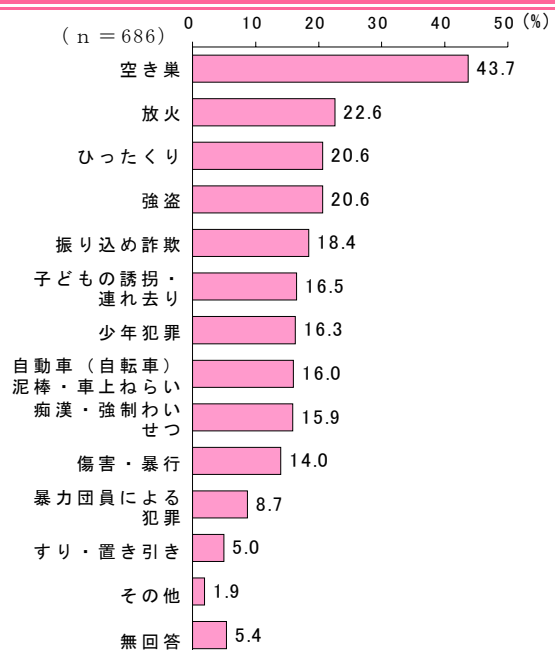


6 防犯対策

■犯罪に対する不安感

不安を感じる犯罪として、「空き巣」(43.7%)が4割台半ばで最も高い。次いで「放火」(22.6%)、「ひったくり」と「強盗」(20.6%)、「振り込め詐欺」(18.4%)の順になっている。

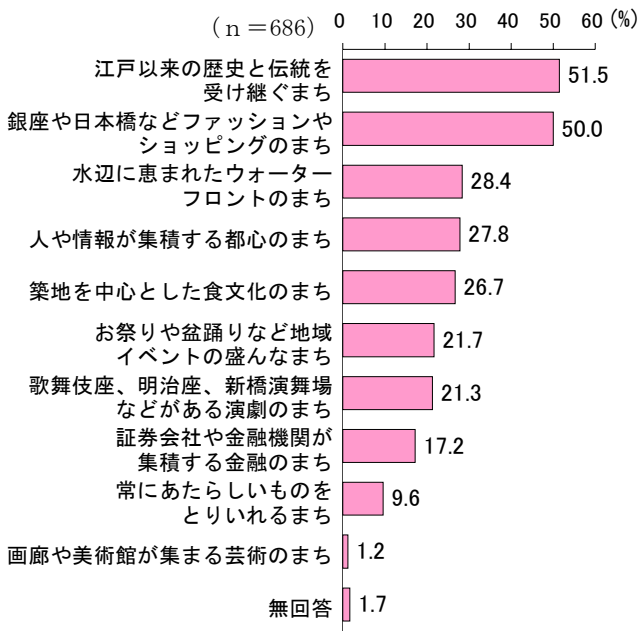
昨年の調査と比較すると、割合が減少した項目として、「子どもの誘拐・連れ去り」の9ポイント、「少年犯罪」の4ポイント、「傷害・暴行」の3ポイントがある。一方、増加した項目は、「振り込め詐欺」で4ポイント、「放火」と「痴漢・強制わいせつ」でそれぞれ3ポイントとなっている。



7 区の文化

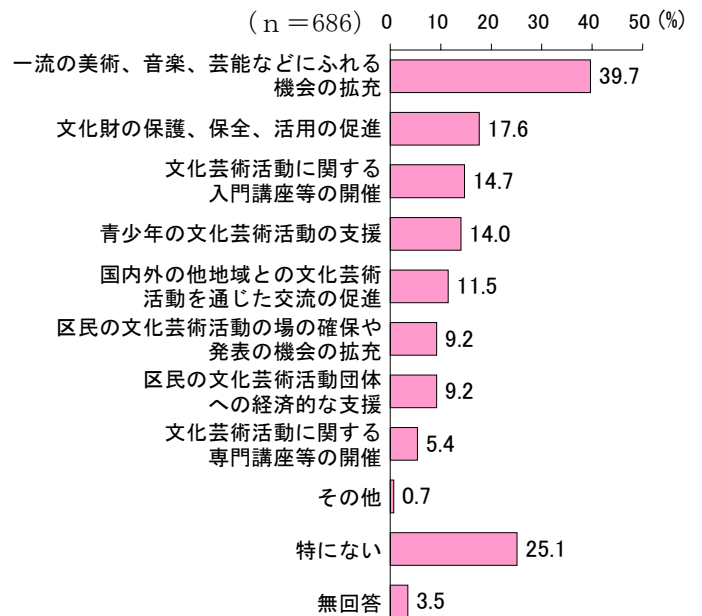
■抱くイメージ

「中央区の文化」について抱くイメージとして、「江戸以来の歴史と伝統を受け継ぐまち」(51.5%)および「銀座や日本橋などファッションやショッピングのまち」(50.0%)が半数以上を占めている。以下、「水辺に恵まれたウォーターフロントのまち」(28.4%)、「人や情報が集積する都心のまち」(27.8%)、「築地を中心とした食文化のまち」(26.7%)が2割台後半で続いている。



■文化を通じたコミュニティ活性化のために力を入れるべきこと

中央区の文化振興を進め、文化を通じたコミュニティの活性化のために力を入れるべきこととして、最も高い「一流の美術、音楽、芸能にふれる機会の拡充」(39.7%)は4割弱を占めており、「文化財の保護、保全、活用の促進」(17.6%)、「文化芸術活動に関する入門講座等の開催」(14.7%)、「青少年の文化芸術活動の支援」(14.0%)、「国内外の他地域との文化芸術活動を通じた交流の促進」(11.5%)と続いている。一方、4人に1人が「特にない」(25.1%)と回答している。

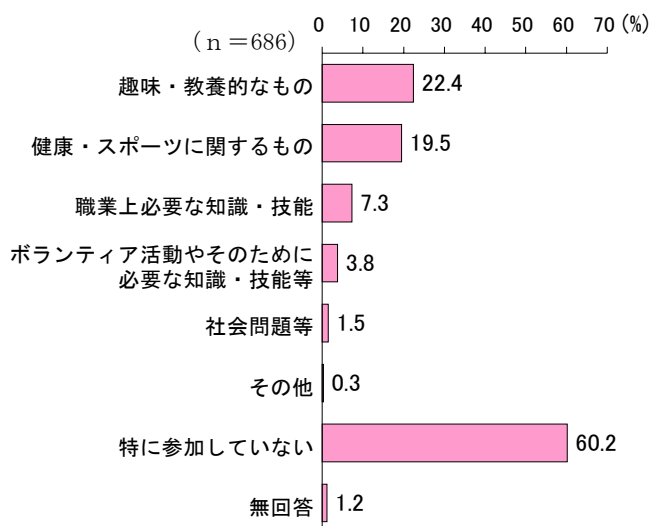


8 生涯学習・スポーツ

■生涯学習への参加

過去1年間にサークルや講座に参加した人は、4割弱である。その中で、「趣味・教養的なもの」(22.4%)と「健康・スポーツに関するもの」(19.5%)の2つが2割前後と大半を占めている。

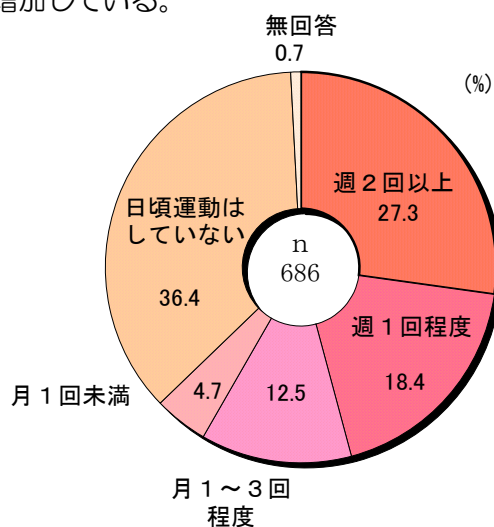
昨年の調査結果と比較した場合、特に目立った違いはないが、「趣味・教養的なもの」が4ポイント、「健康・スポーツに関するもの」が1ポイント、「職業上必要な知識・技能」が2ポイントと上位の項目が増加傾向にある。



■日頃の運動状況

過去1年間の日頃の運動頻度は、「日頃運動はしていない」(36.4%)が約3割台半ばであり、「週2回以上」(27.3%)と「週1回程度」(18.4%)を合わせると、約4割台半ば(45.7%)が週1回以上の運動をしている。

過去の調査結果と比較すると、増加傾向にあった「週2回以上」と「週1回程度」でともに減少する一方で、「日頃運動はしていない」で6ポイント増加している。

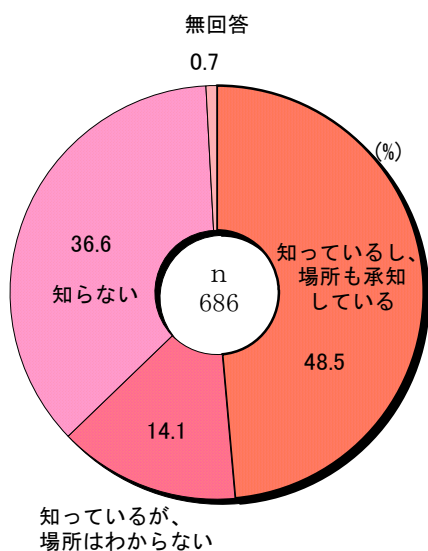


9 防災対策

■ 防災拠点の認知

自分の地域の防災拠点を「知っているし、場所も承知している」のは 48.5%、「知っているが、場所はわからない」(14.1%)を合わせると 62.6%であり、6割強の人が防災拠点を『知っている』ことになる。

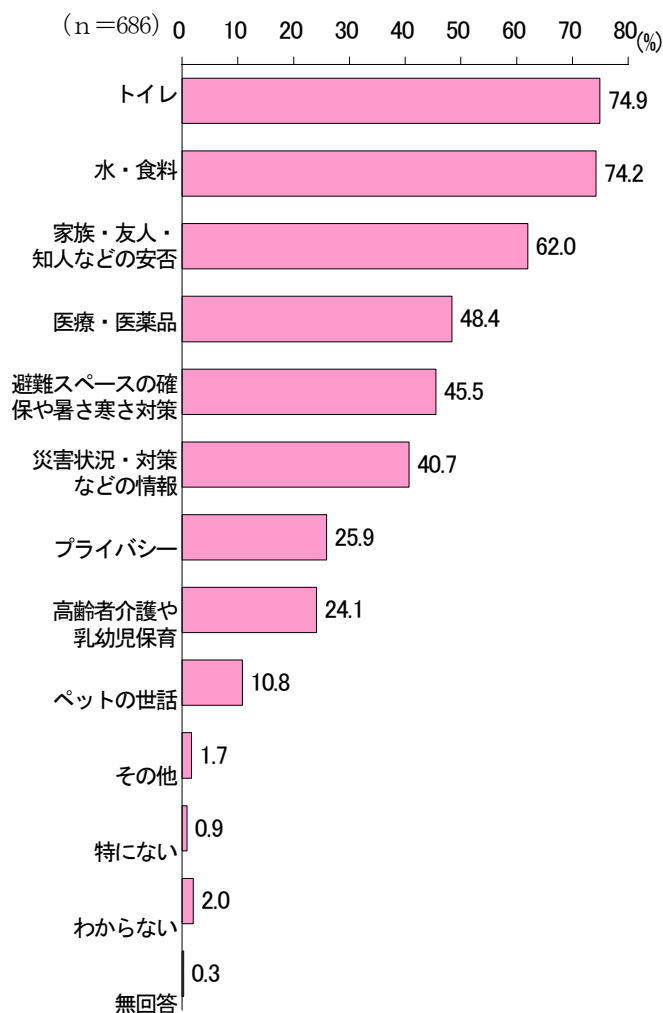
過去の調査結果と比較すると、昨年よりも「知っているし、場所も承知している」が8ポイント、「知っているが、場所はわからない」が3ポイント増加し、「知らない」が9ポイント減少している。



■ 避難の際に心配なこと

防災拠点へ避難する際に特に気がかりなこととして、「トイレ」(74.9%)と「水・食料」(74.2%)の2つが7割を超え特に高い。以下、「家族・友人・知人などの安否」(62.0%)が6割強、「医療・医薬品」(48.4%)や「避難スペースの確保や暑さ寒さ対策」(45.5%)、「災害状況・対策などの情報」(40.7%)が4割台で続いている。

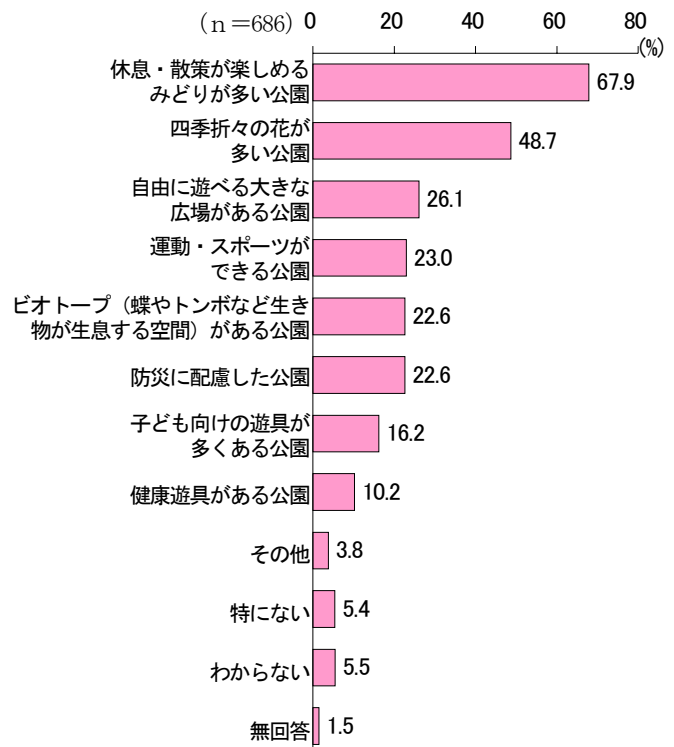
昨年の調査結果と比較すると、特に目立った違いはないが、上位5項目と「ペットの世話」で増加している。



10 公園・緑化施策

■公園整備にあたって望むこと

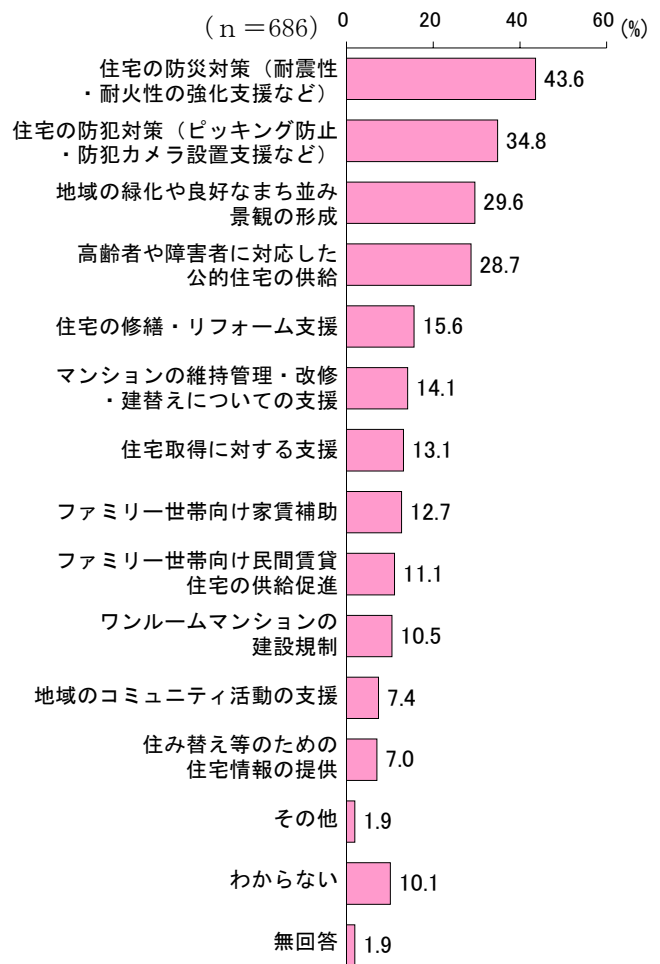
公園整備にあたって望むことについて、「休息・散策が楽しめるみどりが多い公園」(67.9%)が6割台半ばを超えており、次いで「四季折々の花が多い公園」(48.7%)で5割弱と続いている。また、「自由に遊べる大きな広場がある公園」(26.1%)や「運動・スポーツができる公園」(23.0%)、「ビオトープ(蝶やトンボなど生き物が生息する空間)がある公園」(22.6%)、「防災に配慮した公園」(22.6%)はそれぞれ2割強である。



11 住宅施策

■区に望む住宅施策

区に望む住宅施策については、「住宅の防災対策(耐震性・耐火性の強化支援など)」(43.6%)が4割強で最も高く、「住宅の防犯対策(ピッキング防止・防犯カメラ設置支援など)」(34.8%)、「地域の緑化や良好なまち並み景観の形成」(29.6%)、「高齢者や障害者に対応した公的住宅の供給」(28.7%)と続く。上位4項目を除く残りの項目は1割台半ば以下となっている。

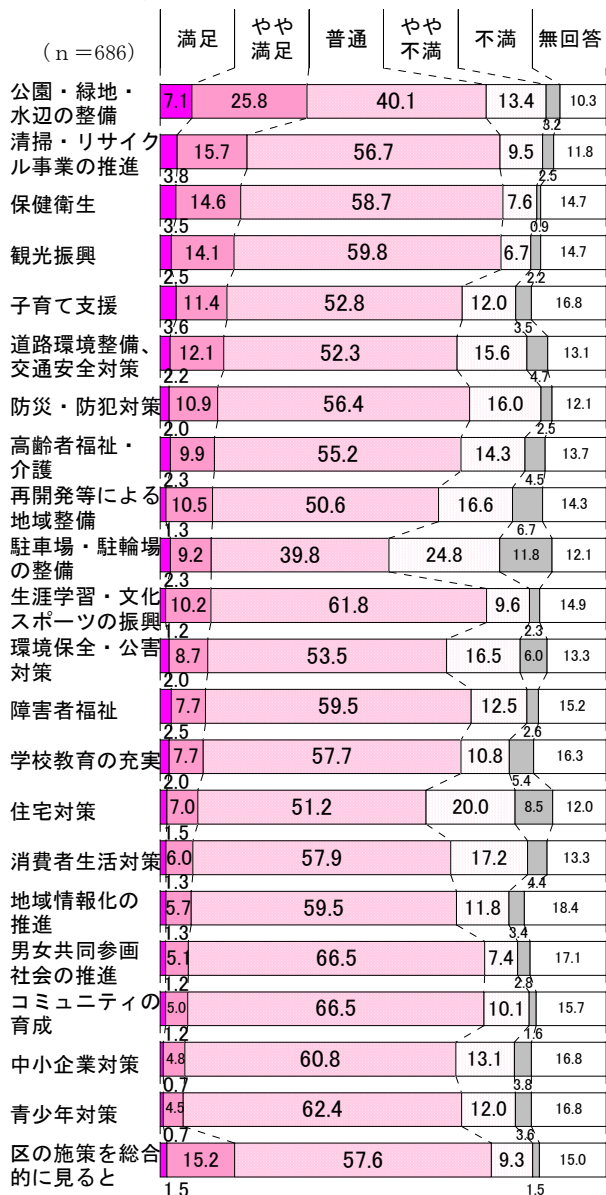


12 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を【満足】とし、「やや不満」と「不満」の合計を【不満】とみなした場合のそれぞれの上位5項目をあげると次のようになる。

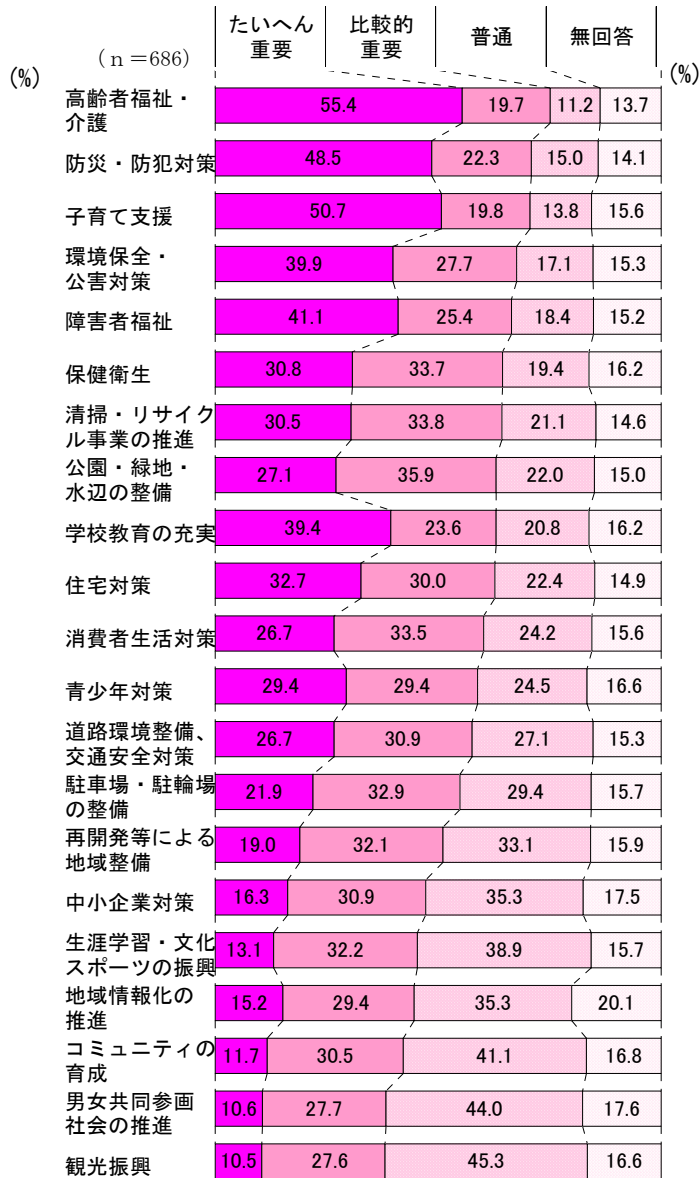
- 【満足】①公園・緑地・水辺の整備 (32.9%)
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (19.5%)
 ③保健衛生 (18.1%)
 ③観光振興 (16.6%)
 ⑤子育て支援 (15.0%)
- 【不満】①駐車場・駐輪場の整備 (36.6%)
 ②住宅対策 (28.5%)
 ③再開発等による地域整備 (23.3%)
 ④環境保全・公害対策 (22.5%)
 ⑤消費者生活対策 (21.6%)



■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」を合算しての、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (75.1%)
 ②防災・防犯対策 (70.8%)
 ③子育て支援 (70.5%)
 ④環境保全・公害対策 (67.6%)
 ⑤障害者福祉 (66.5%)
- 下位 ①観光振興 (38.1%)
 ②男女共同参画社会の推進 (38.3%)
 ③コミュニティの育成 (42.2%)
 ④地域情報化の推進 (44.6%)
 ⑤生涯学習・文化・スポーツの振興 (45.3%)



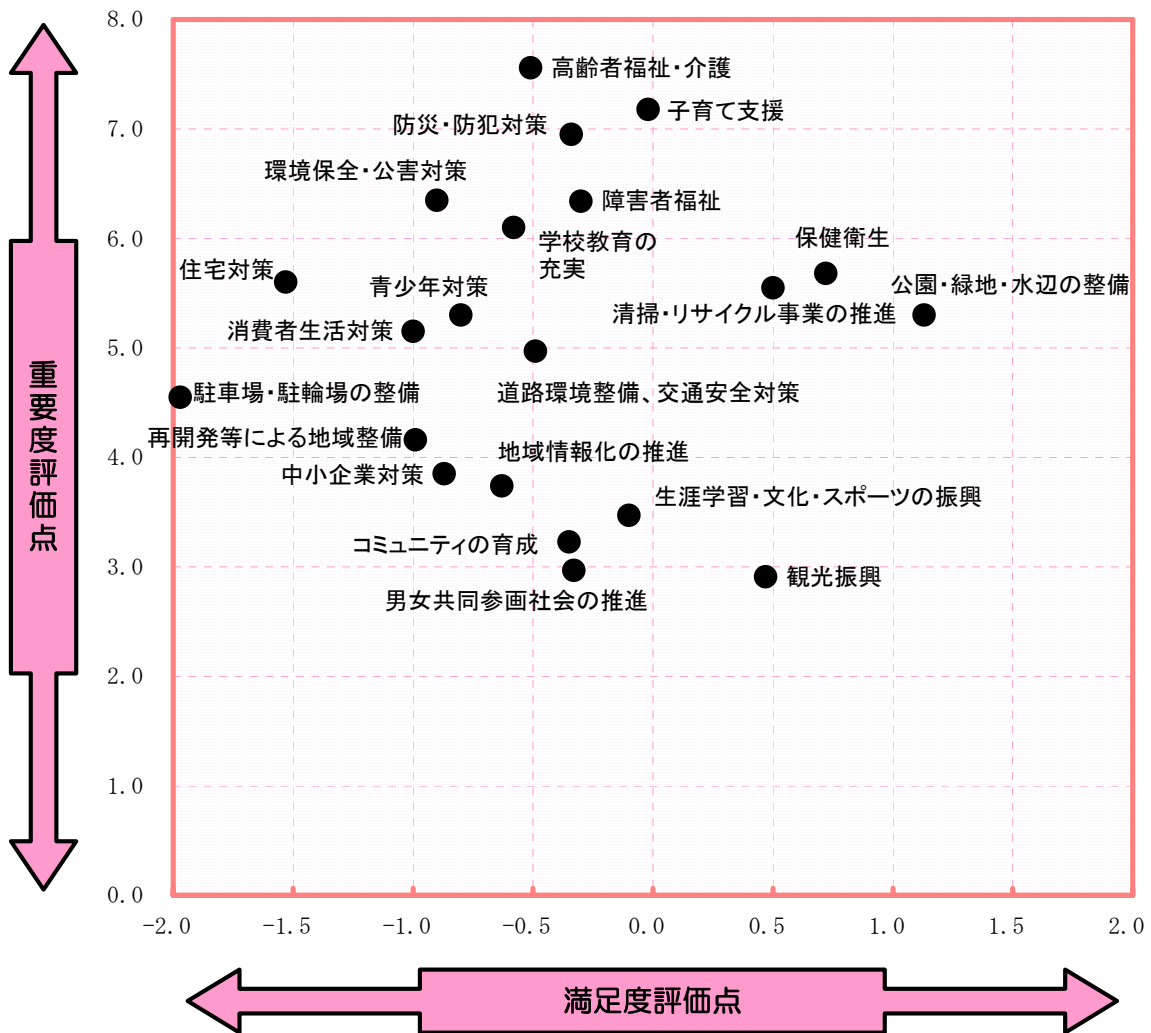
■ 区の施策の満足度と重要度の相関

加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。横軸が満足度評価点で、縦軸が重要度評価点である。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

$$\text{重要度評価点} = (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



■ 区の施策への要望

区の施策への要望を全体でみると、「高齢者福祉・介護」（40.5%）が4割で最も高い。2位は、「防災・防犯対策」（29.4%）、3位は「子育て支援」（27.8%）となっている。次いで、「住宅対策」（23.3%）、「環境保全・公害対策」（18.1%）、「公園・緑地・水辺の整備」（15.2%）などの順となっている。

